2016 年 3 月 30 日

JICA 国内事業部市民参加推進課

2015 年度第 4 回 NGO-JICA 協議会

ダイジェスト版議事録

日時：2016 年 3 月 16 日（水）　14:30－17:30
件名：2015 年度第 4 回 NGO－JICA 協議会
出席者：出席者リストの通り

標記会議を実施したところ、概要以下のとおり。なお、逐語録は追って JICA サイトにて公開予定。

【協議の趣旨】

- 今年度重点課題の振り返り

(1) 一号業務への参画促進タスクについて

一年間の活動の背景、検討の経緯、過程、最終成果品「NGO の一号業務参画促進に向けた案件リスト」の紹介があった。今後案件リスト等を通じて、JICA 在外事務所と現地で活動する NGO との意見交換を活発化させ、現行の案件リストのみならず、新規案件の追加を検討するサイクルを作っていくこととなった。

(2) NGO 支援事業を通じた JICA 活用法

第 1～3 回 NGO-JICA 協議会での議論を踏まえ、来年度以降のプログラムの方向性につき、JICA から「JICA 企画型プログラム」「地域提案型プログラム」「JICA 在外事務所を通じたプログラム」として、2016 年度から実施する旨報告があった。

NGO 側からは、本部は各地域の実施状況をフォローすること、及びスケジュールの前倒しについて要望があり、それを踏まえ、来年度のスケジュール、複数年度契約を可能にする等利便性に配慮した制度にする旨発言があった。

(3) まとめ

「一号業務への参画促進について」は次年度継続して活動することとし、「ODA 本体業務における NGO-JICA の連携強化・促進タスクフォース」の設置を申し送ることとなった。「NGO 支援事業を通じた JICA 活用法」については、NJ 協議会での検討は終了し、次年度は各地域等で実施していくステージとする。

- 報告事項

(4) 環境社会配慮ガイドラインにおける NGO-JICA 連携

別添：協議会配布資料

協議事項として議題提案はあったものの、議題にならなかった経緯につき説明があった。

(5) SDGsの取り組みについて

NGO-JICA双方からSDGの取り組みについて紹介があった。

(6) SATREPSにおけるNGO-JICA連携

SATREPSを通じたNGOとの連携可能性の紹介に対し、NGOからの研究要望を取り入れるメカニズムがあると望ましいというコメントがあった。

(7) 開発教育におけるNGO-JICA連携

来年度一年間かけて取り組む「開発教育推進のための協働に係る準備会合」の報告があった。「持続可能な開発のための教育（ESD）」の動きに関し、既存の文科省、環境省の枠組みだけでなく、外務省からのインプットやNGO相談員の関与を深めてほしいとNGO側から要望があった。

(8) 世界の人びとのためのJICA基金について

4/8のJICA基金活用事業報告会の実施及びJICA基金活用事業（2015年度分）の実施状況の報告があった。

(9) 活動の質向上に向けたNGOの取り組みについて

「支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク（JQAN）」の活動報告及びJICAの人材への普及等JICAとの連携の可能性について言及があり、JICA内で検討することとなった。

(10) NGO-JICA合同の大学生向けキャリアセミナー

3/17開催の同セミナーについての報告があった。

(11) 草の根技術協力事業(10年の振り返り分科会報告、有識者について)

草の根技術協力事業 10 年の振り返りのための分科会の報告書案の完成及び有識者の交代について報告があった。

以上